






# ヤギ除草を活用した環境・SDGs学習 in 東浦自然環境学習の森

取組開始時期	2020年6月	取組の カテゴリー	① 地域活性化	応募部門 (○を付ける)	○	PF会員間連携部門	一般部門
--------	---------	--------------	---------	-----------------	---	-----------	------

1. 団体名	株式会社テクノ中部	2. 連携先の 団体	◎東浦町、特定非営利活動法人水とみどりを愛する会、家畜除草研究会、愛知製鋼株式会社
--------	-----------	---------------	---

3. 取組目的	化石燃料の使用削減と野生動物へ配慮したヤギ除草の実施、ヤギ除草を題材に地元の自然環境を体験し学ぶ環境・SDGs学習イベントを行い、東浦自然環境学習の森の認知度と魅力アップによる地域活性化・地域PR	4. 関連する ゴール	    
---------	--	----------------	---

## 5. 取組経緯

2020年度に地方創生SDGs官民連携プラットフォームの会員である当社と東浦町が連携し、ヤギ除草を実施した。2021年度は、この取組を町民の環境学習や次世代の人材育成にも活用すべく、多数の自然環境学習の実績を持つNPO法人水とみどりを愛する会と新たに連携し、ヤギ除草を題材に、地域の自然環境やSDGsについて学習するイベントを開催した。これにより、ヤギ除草や地域の自然環境、SDGsを学ぶ場を提供し地域の人材の育成、活性化に貢献した。

## 6. 取組概要（100字以内） ※1次選考にて、投票ページに掲載します

愛知県東浦町の「東浦自然環境学習の森」を活用し、企業・NPO・自治体等が連携して、地域の人材育成、地域活性化を目的に、ヤギ除草や環境・SDGs学習を行っています。



## 取組のポイント（3つの視点）

### 地方創生SDGsの視点

持続可能なまちづくり、地域活性化として、ヤギ除草による環境配慮、親子を対象とした環境・SDGs学習による人材育成、東浦自然環境学習の森の魅力アップによる町民サービス向上を実現している。また、地元の活動団体やボランティアの協力を得て、地域活動の活性化にも貢献している。

### ステークホルダーとの連携

NPO法人水とみどりを愛する会には、共同実施者としてインタープリターによる環境・SDGs学習を、東浦町には除草及び活動場所の提供、広報PR活動を、家畜除草研究会には除草ヤギの提供及び健康管理、愛知製鋼株式会社には、企業サポーターとして支援を頂き連携できた。また、地元の活動団体やボランティアの協力も得ることができた。

### モデル性・波及性

企業・NPO・自治体の連携により、CO2排出、騒音、野生動物への影響等が低減できるヤギ除草を、環境・SDGs学習の題材とし、自治体施設の魅力アップにつなげたモデルである。また、活動を通じて、地元の活動団体やボランティアの協力を得ることができ、他の地域でも同様に波及可能なモデルである。

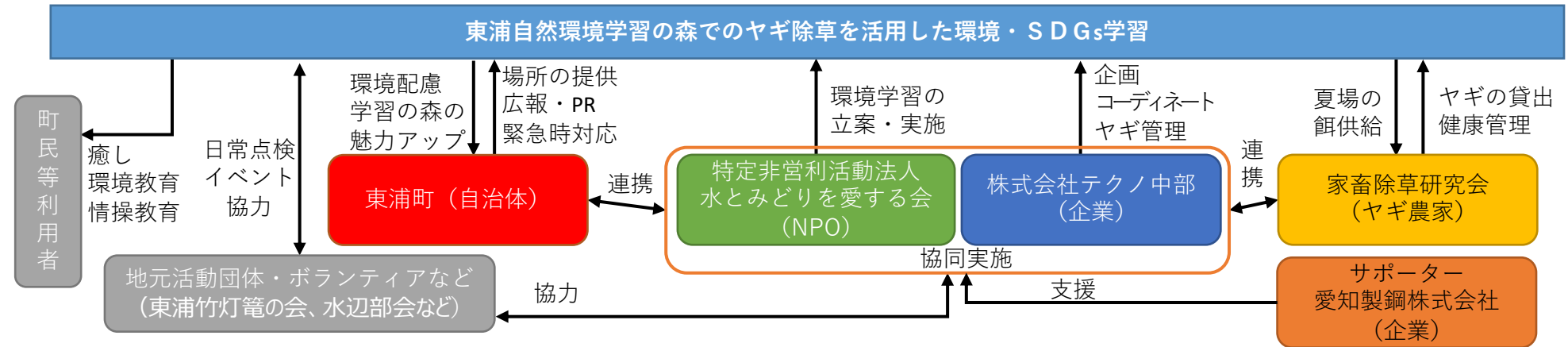
## 7.取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

### ◆ 取組の詳細・成果

ヤギ除草は、2020年度から継続した取組であり、ヤギの良好な健康状態を保ちつつ除草効果を確認しています。ヤギの日常管理は、地元のボランティアの協力を得ながら効率化に努めました。また、本取組は、東浦町のウェブサイトや広報誌での紹介の他、CATVにも取り上げて頂き、一定のPR効果がありました。

さらにヤギ除草を環境・SDGs学習の題材として活用し、人材育成や地域活性化につなげるため、特定非営利活動法人水とみどりを愛する会と連携し、ヤギ除草を活用した環境・SDGs学習イベントを東浦町との共催により10月9日に実施しました。イベントでは、インタープリターによるフィールドビンゴやヤギ除草の見学体験、自然の素材を使った工作などを実施し、参加者からは、身近な自然環境に触れながら、里山保全の大切さやSDGsを学ぶ場として好評を得ることができました。

### ◆ ステークホルダーとの連携体制図



### ◆ 2030年までに目指すべきゴールイメージやありたい姿

- ・東浦自然環境学習の森での持続可能な形でのヤギ除草を含む里山保全活動の継続実施が、多様なステークホルダーが参画する地域活動として広がっていくこと。
- ・継続的な環境・SDGs学習を通じた地域の環境活動が、次世代ジュニアリーダー等の人材の育成に繋がっていくこと。

### ◆ 連携先の団体からのコメント

- ・2021年度から本取組にコラボさせて頂き、当会の目的でもある「自然と人が共生できる社会づくり」の一貫として自然と地元の子ども達を「ツナグ」場が実現出来ました。森林体験やヤギ除草を通じてSDGsを学んで頂けたと思います。（特定非営利活動法人水とみどりを愛する会）
- ・ヤギ除草によりヤギとふれあう環境を活かし、東浦自然環境学習の森の訪問者増加やPRに繋がった。また、ヤギ除草とSDGsの関連性について、多くの方に向けて学習する場になった。（東浦町環境課）
- ・ヤギの採食行動がSDGs達成に寄与する事例を多くの方に見ていただくことができました。単独で取り組むことは難しかったであろうと思います。（家畜除草研究会）

### ◆ 取組に関連するホームページのURL 等

東浦町ウェブサイト（7～9月のトピックス 7月13日今年もやぎさんがやってきた！）

<https://www.town.aichi-higashiura.lg.jp/soshiki/kohojoho/kohotokei/qyomu/koho/topics/R3/11212.html>

広報ひがしうら令和3年9月号（P22 森を探検！ヤギ除草を通じてSDGsを学ぼう）

[https://www.town.aichi-higashiura.lg.jp/material/files/group/4/koho20210901\\_21-28.pdf](https://www.town.aichi-higashiura.lg.jp/material/files/group/4/koho20210901_21-28.pdf)